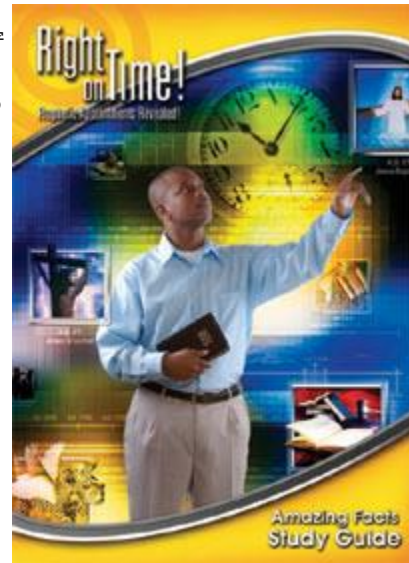


シートベルトをしっかりと締めてください！ あなたはこれから、聖書の中の最も長い預言期間について探っていきます- イエスの最初の来臨、そして彼の死を完璧に言い当てた預言です。この聖書講座の16課「宇宙からの天使のメッセージ」で、神はきわめて重要なメッセージを持っておられ、そして世の人々は、そのメッセージを必ず聞かなければならないことを学びました。メッセージのはじめに神が命じておられることは、人々が神を礼拝し、神に栄光を帰すことです、なぜなら神の裁きのときが来たからです(ヨハネの黙示録 14:7)。ダニエル書 8章と9章で、神は最終的な裁きが始まる日を明らかにされ、また、預言を解釈するための有力な鍵が与えられていますので、キリストがメシヤであることも証明しています。ですから、すべてのみ言葉の中で、この預言より重要なものはありません - それにもかかわらずわずかな人しかそれを知らないのです！ また、ある人たちは、まったく誤った解釈をしています。この講座を始める前に、ダニエル書の8章、9章をどうぞお読みください、そして、この驚くべき講座が理解できるように、神の聖霊の導きをお祈りください。



1. 幻の中で、ダニエルは二つの角を持った雄羊が、西、北、南に向かって突撃し、遭遇するすべての獣を征服しているのを見ました(ダニエル書 8:3, 4)。この雄羊は、何を象徴しているのですか？

「あなたが見た、あの二つの角のある雄羊は、メデアとペルシャの王です。」ダニエル書 8:20



雄羊は、メド・ペルシャ帝国を象徴している。

答え：雄羊は、世界帝国であるメド・ペルシャを象徴しており、それはまた、ダニエル書 7:5 に書かれている熊としても象徴されています。ダニエル書とヨハネの黙示録の聖書の預言書は、「繰り返し、拡大する」という原則に従っています。それは先の章に出てきた預言を、後に繰り返し取り上げ、それらを拡大(さらなる情報を付け加えて説明)するということです。この方法は、聖書の預言を明白に、そして確かなものにします。

2. 次にダニエルはどのような驚くべき動物を見ましたか？

「また、かの雄やぎはギリシャの王です。その目の間の大きな角は、その第一の王です。またその角が折れて、その代わりに四つの角が生じたのは、その民から四つの国が起こるのです。」ダニエル書 8:21, 22



雄やぎは、ギリシャを象徴している。

答え：ダニエルの幻の中で、次に、非常に速さで走っている大きな角を持った雄やぎが突然現れました。この雄やぎは雄羊を襲撃し、倒しました。すると、その大きな角は折れて、その代わりに四つの角が現れました。この怒った雄やぎは、世界の第三帝国であるギリシャを象徴しています。そして、大きな角はアレキサンダー大王を象徴します。大きな角の代わりに現れた四つの角は、アレキサンダー大王の帝国が分裂して四つの王国に分かれたことを意味します。ダニエル書 7:6 で、これらの四つの王国はひょうの四つの頭として表わされており、このひょうもまた、ギリシャを象徴します。これらの象徴は歴史の中にぴったりと当てはまるので、容易に確認することができます。

3. ダニエル書 8:8, 9 によると、次に、小さな角の権力が出てきます。この小さい角は何を象徴していますか？

答え：この小さい角は、ローマを象徴しています。ある人々は、この小さい角は、紀元前2世紀にパレスチナを治め、そして、ユダヤ人の神殿を汚し、礼拝を妨害したセレウコス朝シリアの王、アンティオコス・エピファネスであると示唆しています。また、宗教改革の指導者を含むほかの人々は、この小さい角は、異教、そして、法王制の両方におけるローマを象徴していると信じています。ではこれに関して聖書の明確な証拠を調べてみましょう：



ダニエル書8章の「小さい角」は、異教ローマと法王制ローマの両方を表している。それゆえ終末時代の小さい角は、ローマ法王制度である。

A. 「繰り返し、拡大する」という預言の原則に一致するものであるとするならば、ここで象徴されているのはローマの権力でなければなりません。なぜなら、ダニエル書2章、7章の両方が、ギリシャに続く王国としてローマを指しているからです。ダニエル書7:24-27でもまた、法王制度を構成しているローマののちに、キリストの王国が引き継がれるということが立証されています。ダニエル書8章の小さい角の権力は、この体系に正確に当てはまります：小さい角は、ギリシャののちに続き、超自然的に滅ぼされる、または、イエスの再臨のときに「人手によらずに滅ぼされる」のです(ダニエル書8:25と、ダニエル書2:34を比較してください)。

B. ダニエル書8章のメド・ベルシャは、「高ぶって」いた(4節 great)と書かれており、ギリシャは「はなはだしく高ぶった」(8節 very great)、そして小さい角の権力は「はなはだしく大きくなり」(9節 exceeding great)と述べられています。(訳注：英語の聖書での表現を見ると、great(偉大)、very great(とても偉大)、exceeding great(はなはだしく偉大)と段階的に権力が強くなっていることが明白にわかります。) 歴史は、ギリシャに続いたどのような権力も、「はなはだしく大きく」なったものはローマ以外にはないということを明らかにしています。

C. ローマは、事前に預言されていた通りに、その勢力を、南(エジプト)、東(マケドニア)、そして「麗しい地」(パレスチナ)へと延ばしました。ローマ以外には、どんな主要な権力もこの事実には当てはまりません。

D. ローマだけが「群衆の主」(11節)、そして「君の君たる者」であるイエスに敵対して立ち上がりました。異教ローマは、イエスを十字架につけ、ユダヤの神殿を破壊しました。また、法王制ローマは、天の私たちの大祭司であるイエスの必要不可欠な働きを、罪をゆるすことができると主張する地上の司祭の働きと入れ替えてしまうことにより事実上、天の聖所を「倒し」(11節)、そして「足の下に踏みつけ」たのです(13節)。神以外のだれも罪をゆるすことはできません(ルカによる福音書5:21)。また、イエスだけが私たちの唯一の祭司、仲保者です(テモテへの第一の手紙2:5)。

4. ダニエル書8章は、この小さい角の権力はまた、多くの神の民を滅ぼし(10,24,25節)、真理を地に投げ落とす(12節)と告げています。神の民と天の聖所が足の下に踏みつけられるのはいつまでなのかと聖者が尋ねた際に、どのような応答が天からあったのでしょうか？

「彼は言った、『二千三百(日 days - 欽定訳聖書)の夕と朝の間である。そして聖所は清められてその正しい状態に復する。』」ダニエル書8:14

答え：天からの応答は、天の聖所は、預言的な2300日、または字義通りの2300年の後に清められるというものでした。(この聖書講座の15課では、エゼキエル書4:6、民数記14:34で教えられている一日を一年とする預言解釈の原則が詳述されています)私たちは、地上の聖所の清めは、古代イスラエルの時代の贖罪の日になされたということをすでに学びました。



小さい角の権力は、無数の神の民を迫害し、滅ぼした。

その日、神の民は、神に属するものとして明確に認識され、彼らの罪の記録は取り除かれました。罪に執着していた悪人は、イスラエルから永久に切り離されました。このようにして、宿営は、罪から清められたのです。

天は、ここでダニエルに、罪と小さい角の権力は、世界を支配し、神の民を際限なく迫害して栄え続けることはない保証を与えました。その代わりに、神は、2300年の終わりの天の贖罪の日、審判を始められることによって罪と罪人を特定し、のちにこの宇宙から永久に除去されるのです。このようにして宇宙は罪から清められます。神の民に対してなされてきた不当な扱いはついに正され、エデンの園の平和と調和が再びこの宇宙を満たします。

5. 天使ガブリエルは、どのような重要事項を繰り返し強調しましたか？

「人の子よ、悟りなさい。この幻は終りの時にかかわるものです。」「見よ、わたしは憤りの終りの時に起るべき事を、あなたに知らせよう。」「しかし、あなたはその幻を秘密にしておかなければならない。これは多くの日の後にかかわる事だから。」ダニエル書8:17, 19, 26



答え：

ガブリエルは、2300日の幻は、終わりのときの出来事に関わるものであるとくり返し力説しました。終わりのときは、1798年に始まるということ、私たちは、この聖書講座の15課で学びました。天使は、2300日の預言は、この地球歴史の終わりのときに生活している私たちに主に適応されるメッセージであることを理解して欲しいと望んでいました。今日、このメッセージは特別な意味を持っています。

ダニエル書9章の内容紹介

ダニエル書8章の幻ののち、天使ガブリエルが飛んできて、その幻についての説明を始めました。ガブリエルが2300日の説明のところにきたときにダニエルは倒れ、しばらくの間病に伏してしまいました。彼は再び力を取り戻し、王の業務を始めましたが、まだ説明されていなかった幻の部分、2300日のことを非常に思い悩んでいました。ダニエルは、メド・ベルシャで捕囚となっている彼の民であるユダヤ人のために熱心に祈りました。彼は自分の罪を告白し、神の民のゆるしを神に懇願しました。ダニエル書9章は、預言者ダニエルの告白と、神への懇願という熱心な祈りで始まっています。

ダニエルは、神の助けによって、2300年の預言が理解できるように祈った。

この聖書講座のさらなる学びを続ける前に、ダニエル書9章をじっくりお読みください。

6. ダニエルが祈っていたとき、だれが、どのようなメッセージを持って来ましたか (ダニエル書 9:21-23) ?



答え：天使ガブリエルは、ダニエル書 8 章に書かれている幻の残りを説明するために来たことを告げました (ダニエル書 8:26 とダニエル書 9:23 を比較してください)。

天使ガブリエルは、2300 年の預言を説明するためにダニエルのところに来た。

7. 2300 日のどのくらいの期間が、ダニエルの民、ユダヤ人、また彼らの首都エルサレムのために割り当てられて (または切り取られて) いますか (ダニエル 9:24) ?

答え：70 週が、ユダヤ人のために「定められて」、または切り取られています。預言的な 70 週は、実際の 490 年に相当します ($70 \times 7 = 490$)。神の民はまもなくメド・ペルシャの捕囚から戻るので、神は、2300 年から 490 年を切り取られ、神の選ばれた民に、もう一度悔い改め、神に仕える機会を与えるためにその期間を割り当てられたのでした。



ガブリエルはダニエルに、2300 年の預言のうちに起こる重要な出来事について説明した。

8. どのような出来事と日付が、預言的 2300 日と、490 年の起点として記されていますか (ダニエル書 9:25) ?



アルタシヤスタ王は、紀元 457 年に、エルサレム再建の許可を与えた。

答え： 預言期間の開始の出来事は、ペルシャの王、アルタシヤスタが、神の民（メド・ペルシャで捕囚となっていた）に、エルサレムに戻り、町を再建せよとの法令の布告でした。この布告は、エズラ記 7 章に記録されていますが、それは王の治世 7 年目の紀元前 457 年、秋に履行されました（7 節）。アルタシヤスタの統治は、紀元前 464 年に始まりました。

9. 天使は、預言的な 69 週、または字義通りの 483 年 ($69 \times 7 = 483$) を、紀元前 457 年に加えると、メシアの出現の時に達すると言いましたが（ダニエル書 9：25）、そうなのでしょうか？

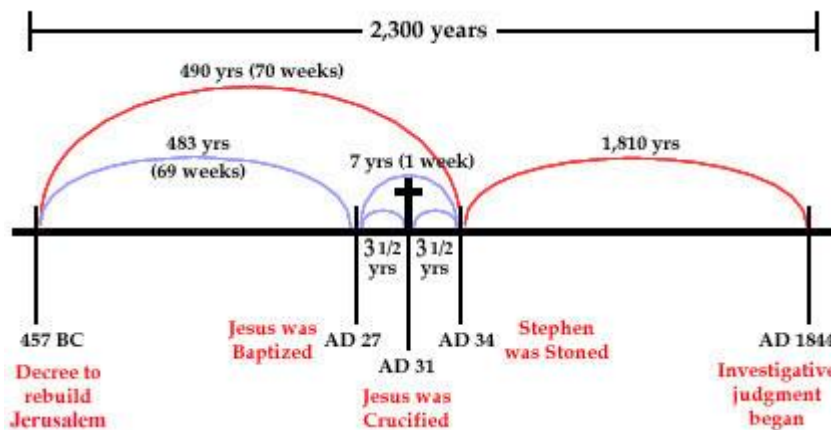


イエスのバプテスマは、正確な聖書の預言の成就であった。

答え： はい、確かにそうです！ 数学的計算では、紀元前 457 年の秋から 483 年間進むと紀元 27 年の秋に達することがわかります。「メシア」という言葉は「油注がれた者」という意味です（ヨハネによる福音書 1:41 注：英語聖書の欄外で説明されています）。イエスはバプテスマを受けたときに聖霊によって油を注がれました（使徒行伝 10:38、ルカによる福音書 3:21,22）。ローマ皇帝ティベリウス・クラウディスの治世 15 年である紀元 27 年に、イエスは油を注がれました（ルカによる福音書 3:10）。この預言がなされたのが、それが成就する 500 年以上も前であったことを考えてみてください！

イエスはまず、「時は満ちた」（483 年のメシア到来の預言が成就した）と宣言されました。イエスは、人々が耳にすることができるように公に宣言することで、この預言の成就が確かなものであることを認められたのです（マルコによる福音書 1:14,15；ガラテヤ人への手紙 4:4）。このように、イエスは、2300 年の預言をはっきりと指し示し、その重要性と正確さを強調することによって、お働きを始められました。これはすばらしく、また、驚くべきことであり、下記の事柄の証拠となります：

- A. 聖書は靈感を受けている。
- B. イエスはメシアである。
- C. 2300 日/490 年の預言におけるほかのすべての年代は確かである。何と堅固な土台でしょうか！



10. 私たちは、490 年の預言の中の 483 年に関して考えてきました。あとは預言的な一週、または文字通りの七年が残されています（ダニエル書 9:26, 27）。次はどのような出来事がありますか？それはいつ起こるのでしょうか？

答え： イエスは、「その週の半ば」に「断たれ」ました、それは十字架にかかられたということです。これは、イエスが油を注がれてから三年半の後 -- 紀元

31年の春でした。どのように福音が示されたのかということについて26節に書かれていますので、どうぞ注意深くお読みください「その62週の後にメシヤは断たれるでしょう。ただし自分のためにはありません。」

神をたたえましょう、イエスが断たれた時、それは彼ご自身のためではありませんでした。「罪を犯さ(なかった)」(ペテロの第一の手紙2:22)お方が、私たちの罪のために十字架で死んでくださったのです(コリント第一の手紙15:3; イザヤ書53:5)。イエスの尊い貴重なご生涯を、私たちが罪から救うために、心から喜んで捧げてくださったのです。ハレルヤ、何という救い主でしょうか! イエスの贖いの犠牲こそが、まさにダニエル書8章、9章の中心なのです。

11. イエスは三年半のちに亡くなりましたが、ダニエル書9:27の預言の最後である七年間に、「多くの者と、堅く契約を結ぶ」ことがどのようにして可能になったのでしょうか?

答え: この契約は、人々を罪から救うイエスの祝福の約束です(ヘブル人への手紙10:16、17)。三年半のイエスの働きが終了したのち、彼は弟子たちを通して契約を確立されました(ヘブル人への手紙2:3)。イエスは弟子たちをまず、ユダヤ国民のところへ送られました(マタイによる福音書10:5、6)、なぜならイエスの選民は、彼らの490年の預言のうちの三年半が、悔い改める機会としてまだ残されていたからです。



弟子たちは、ユダヤ人の群衆に宣教した。

12. ユダヤ国家のための最終的な機会である490年間が、紀元34年の秋に終了したのち、弟子たちは何をしましたか?



ステパノが石で打ち殺されたのち、弟子たちは福音を異邦人に宣教し始めた

答え: 弟子たちは、ユダヤ国民以外の人々や、世界の国々に福音を宣べ伝え始めました(使徒行伝13:46)。正しい執事であったステパノは、紀元34年に、公にユダヤ議会から石打ちの刑に処されました。彼らはイエスと神のご計画を退けたため、そのとき以来、もはや神の選民、または国家ではなくなっていました。神は今、すべての国々において神を受け入れ、仕える人々を霊的なユダヤ人とみなしておられます。彼らは神の選民 -- 「約束による相続人」なのです。この霊的なユダヤ人には、もちろん個人的にイエスを受け入れ、そして仕えるユダヤ人を含んでいます。

13. 紀元34年後、2300年の預言ではあと何年残されていますか? この預言の終了する年はいつでしょうか? 天使はこの年に、何が起こると言いましたか(ダニエル書8:14)?

総元：1810年はまだ残されています(2300 - 490 = 1810)。この預言が終了する年は1844年です(紀元 34 + 1810 = 1844)。天使は、天の聖所が清められる、もしくは天の審判が始まると言いました(地上の聖所は、紀元 70 年に滅ぼされました)。私たちはこの聖書講座 17 課で、天の贖罪の日、すなわち審判が終末時代に定められているということを知りました。そして今ここで、私たちはその始まりとなる年が1844年であることがわかったのです。神がこの日付を定められました。これは紀元 27 年に、イエスがメシヤになられたのと同じくらい確かなことです。終末時代に生存している神の民は、このメッセージを宣べ伝えなければなりません(ヨハネの黙示録 14:6, 7)。この聖書講座 19 課で、裁きについて詳しく学ぶと、とてもスリルに満ち、そして満足感を得る学びとなります。ノアの時代に、神は洪水による裁きが120年ののちに起こると明言されました(創世記 6:3) -- そしてそれは起こったのです。ダニエルの時代に、神は、神の終末時代の審判が、2300年で始まることと明言されました(ダニエル書 8:14) -- そしてそれは始まりました。神の終末時代の審判は1844年以来、現在も進行中です。



神の調査審判は、天の軍勢が巨人である。

贖罪の意味

英語の贖罪、贖い(atonement)という言葉の本来の意味は、ひとつになる(at-one-ment)で、それは「一体になる」、または一致している状態のことです。それはひとつになって調和している関係を表しています。完全な調和は、当初、宇宙全体に存在していました。輝く天の使いルシファーは(聖書講座 2 課で学んだように)、神と、神の統治の原則に挑戦しました。天の三分の一の天使がルシファーの反逆に加わってしまいました(ヨハネの黙示録 12:3, 4, 7-9)。

聖書では、神と、神の愛の原則に対する反逆は罪と呼ばれています。(イザヤ書 53:6; ヨハネの第一の手紙 3:4)。それは苦悩、混乱、無秩序、悲劇、失望、悲しみ、裏切り、そしてあらゆる類の悪をもたらします。何よりも恐ろしいことは、その刑罰は死であり(ローマ人への手紙 6:23) -- それは復活のない -- 火と硫黄の燃えている池の中の死ということです(ヨハネの黙示録 21:8)。罪は急速に広がりますので、それは最も致死性の高い種類の癌よりもいっそう致命的なものです。罪によって宇宙そのものが危険にさらされることになってしまいました。

それゆえに、神は、ルシファーと悪天使たちを天から追放しました。(ヨハネの黙示録 12:7-9) そしてルシファーは「サタン」という新しい名を与えられましたが、これは「敵」という意味です。ルシファーに従って墮落した天使たちは、今は悪霊と呼ばれるようになりました。サタンはアダムとエバを誘惑して罪を犯させ、結果として罪が全人類に及んでしまったのです。何と恐ろしい悲劇でしょうか！善と悪との間の痛烈な争闘が始まってしまい、悪が勝利をおさめるかのように見えました。その状況は絶望的に思えました。



サタンがすべての罪の源である。

けれども絶望ではなかったのです！神の御子であられるイエス、この地上に生存してきた人間ではだれ一人としてできなかったことを可能にくださったお方 -- 神ご自身 -- が、すべての罪人の死の刑罰の支払いをするために、ご自分の命を犠牲として捧げてくださることに同意されたのです(コリント第一の手紙 5:7)。ですから、イエスの犠牲を受け入れることにより、罪人は、罪の呵責から解放されます(ローマ人への手紙 3:25)。このすばらしい計画はまた、人がイエスをお招きするならば、その人の人生に介入して下さり、(ヨハネの黙示録 3:20)、新しい人に造り変えてくださることも含まれています(コリント人への第二の手紙 5:17)。それは悪魔に抵抗する力も備えられており、そして回心したすべての人を創造当初の神のかたちに回復してくださるのです(創世記 1:26, 27; ローマ人への手紙 8:29)。

この祝福された贖いは、罪を切り離し、根絶しますが、それはサタンと墮落した天使たち、そしてサタンの反逆に加わったすべての人々を根絶することも含みます(マタイによる福音書 25:41; ヨハネの黙示録 21:8)。さらに、イエスとイエスの愛の統治、そしてサタンと彼の極悪非道な独裁統治に関しての完全で十分な知識がこの地上のすべての人々に与えられるので、キリストかサタンのどちらに連なるのか 知的に、十分な情報を得た上での決断をすべての人が行うことができるのです(マタイによる福音書 24:14; ヨハネの黙示録 14:6, 7)。

天の法廷で、すべての人の事例が調査され(ローマ人への手紙 14:10-12)、そして神は、キリストかサタンのどちらに仕えるのかという個人々の選択を尊重されます(ヨハネの黙示録 22:11,12)。最終的に罪を根絶したのち、神のご計画は新しい天と地を再創造することです(ペテロの第二の手紙 3:13; イザヤ書 65:17)。そこでは罪が再び起こることはなく(ナホム書 1:9)、神は、神の民に、そこを彼らの永遠の住まいとして与えてくださいます(ヨハネの黙示録 21:1-5)。父なる神と御子は、永遠にわたる完全な喜びと調和のうちに神の民と共に住まわれます。

これらすべては、贖い(ひとつになる at-one-ment)の中に含まれているのです。 神はこれらを見言葉によって私たちに教えて下さり、また、旧約の聖所の奉仕、特に贖罪の日を通して明示して下さいました。イエスが贖いの主要なお方です。このお方のカルバリーにおける私たちのための愛の犠牲がこれらの計画のすべてを可能にしたのです。私たちの人生、そして宇宙から罪を取り除くことができるのは、イエスを通してのみです(使徒行伝 4:12)。この世に伝えるべき天の三つの最終メッセージが、私たちすべてに、神を礼拝しなさいと呼びかけておられることはもっともなことです(ヨハネの黙示録 14:6,7)。

14. なぜ、ある聖書解釈者たちは、ユダヤ国民のために割り当てられた 490 年の最後の一週間(または 7 年)を、地球歴史の終わりにおける反キリストの働きに適應するのでしょうか？



なぜ、この重要な預言の一部を切り取ってしまう人がいる

のか？

答え： この質問は大切なものです -- 「なぜ、ユダヤ国民のために割り当てられた 490 年の最後の七年間を取り除き、それをこの世界歴史の終わりに当てはめようとするのですか？」

いくつかの事柄を復習してみましょう：

- A. 490 年の預言の期間において、時間的な隔りがあるという説は、それがどの年代の間であろうと、その根拠や証拠はありません。それはダニエル書 9:2 で述べられている神の民の 70 年の捕囚期間と同じように連続している期間です。**
- B. 聖書の中にある特定の時間単位（日、週、月、年）で成り立っている期間は、連続している時間単位であるということ以外、決してほかの意味はありません。預言のどの年代のどの部分であっても、それを切り離し、後の時に当てはめると称する人々は、それを証明する義務があります。**
- C. 預言の最後の 7 年は、紀元 27 年（イエスのバプテスマの年）が起点でした。それは、イエスが宣教するにあたって、まず最初に、「時は満ちた」（マルコによる福音書 1:15）と述べられたことで強調されたのです。**
- D. 紀元 31 年の春、十字架上でイエスが死なれる瞬間に、「すべてが終わった」と叫ばれました。救い主は、ここで明確に、ダニエル書 9 章にある彼の死の預言を指し示されたのです。それらは：**
1. 「メシヤ」は「断たれる」、つまり十字架にかかられる（26 節）。
 2. イエスは、真の神の子羊として、すべての人のために死なれることによって「犠牲と供え物とを廃する」（27 節；コリント第一の手紙 5:7；15:3）。
 3. 彼は「不義を贖（う）」（24 節）。

ユダヤ国民のために割り当てられている 490 年の最後の七週、または七年間を切り離して、それをこの世界歴史の終わりの反キリストの働きに適用することの聖書的な権威、証拠はありません。さらに深刻なことは、490 年の預言から最後の七年間を切り離すことは、ダニエル書と黙示録にある多くの預言の真の意味を極めて歪めてしまうので、人々は事実上、それらの預言を正しく解釈することができなくなります。ですから神は、このような間隙説（ギャップセオリー gap theory）のように、預言を自分勝手に解釈することを禁じておられるのです。このような解釈は、常に人々を正道から離れさせてしまいます。

15. 私は、私のためのキリストの贖罪の犠牲を受け入れ、そして私を罪から清め、新しい人に造り変えてくださるキリストをお招きしました。

答え：

- はい
- いいえ

質問

1. 小さい角の権力が、ダニエル書 7 章と 8 章の両方に現れています。それらは同じ権力でしょうか？
ダニエル書 7:8

ダニエル書 7 章の小さい角の権力は、ローマ法王制度を象徴しています。ダニエル書 8 章の小さい角の権力は、異教ローマ、そして法王制ローマの両方を象徴しています。

2. ダニエル書 8:14 の「2300（日 - 飲定訳聖書）」は、ヘブル語で書かれている「2300 の夕と朝」を、字義通りに訳したものです。これはある人々が主張するように、1150 日という意味ですか？
ダニエル書 8:14

いいえ、聖書は、創世記 1:5,8,13,19,23,31 で、夕と朝で、一日に等しいということを明確に示しています。歴史において、1150 年の終わりに、この預言を成就するような出来事は何もありませんでした。

3. クリスマン生活において、「選択」はどのような役割を果たすのでしょうか？
ヨシュア記 24:15

それは成功するための重要な秘訣です。神は常に選択の自由を与えてこられました（ヨシュア記 24:15）。神はすべての人を救うことを望まれますが（テモテへの第一の手紙 2:3, 4）、それでも、選択することの自由を許されるのです（申命記 30:19）。神は、サタンが神に反逆する選択を許されました。神はまた、アダムとエバに不服従をする選択を許されました。義は、私がどのように生きようが、または、私は行きたくないにもかかわらず天国に連れて行ってしまおうような変更することができない、プログラム化された規定では決してありません。選択ということは、私は常に自分の考えや、心を変えることのできる自由があるという意味です。イエスは、私がイエスを選び（マタイによる福音書 11:28-30）、そして毎日に私の選択を再確認することを願われます（詩篇 86:3）。もし私の日々の選びがイエスのためであるならば、私を変え、神に似た者にして下さり、やがて新しい王国に連れて行ってくださいます。けれどもどうぞ覚えていてください、私はいつでも背き、他の方向へ行く自由があります。神は私を強制することはありません。

4. 多くの人が、セレウコス朝の王アンティオカス・エピファネスが、ダニエル 8 章の小さい角の権力であると信じています。これが真実ではないということ
をどのように確信できますか？
ダニエル書 8:9

多くの理由があります。そのうちのいくつかが次のとおりです：

- A. アンティオカス・エピファネスは、ダニエル書の中で、「はなはだしく大きく」と預言されている通りにはなりませんでした（ダニエル書 8 章）。**
- B. 彼は、ダニエル書で預言されているように「終わりの時」、あるいはセレウコス王国の後期に（ダニエル書 8:23）統治せず、むしろ中期でした。**

- C. アンティオカス・エピファネスが小さい角であると教える人たちは、2300日を、一日を一年とする預言の日数としてではなく、字義通りに解釈して数えています。六年を少し超えるこの実際の期間を、ダニエル書8章に適用するのは見当違いです。この実際の期間を、アンティオカス・エピファネスに当てはめようとする人たちは、皆様に置いておき、この解釈の支持者たちは困惑しています。
- D. アンティオカス・エピファネスは、紀元前164年に死去していますが、小さい角は、「終わりの時」(ダニエル書8:12, 17, 19)にまだ存在しています。
- E. 小さい角は、南、東、そしてパレスチナに向かって「はなはだしく大きく」なります(ダニエル書8:9)。アンティオカス・エピファネスは、しばらくの間パレスチナで統治はしましたが、エジプト(南)、マケドニア(東)においての成功はほとんどありませんでした。
- F. 小さい角は神の聖所を倒します(ダニエル書8:11)。アンティオカス・エピファネスは、エルサレムの宮を破壊してはいません。彼は宮を汚しましたが、宮は紀元70年に、ローマ人によって滅ぼされました。彼は預言されているようにはエルサレムを滅ぼすこともありませんでした(ダニエル書9:26)。
- G. キリストは、ダニエル書9:26,27の荒らす憎むべき者を、紀元前167年のアンティオカス・エピファネスの過去の攻撃ではなく、ローマの軍隊がごく近い将来、キリストご自身の世代である紀元70年にエルサレムと宮を滅ぼすということに適応されました(ルカによる福音書21:20-24)。マタイによる福音書24:15において、イエスははっきりと預言者ダニエルのことに言及され、ダニエル書9:26,27のイエスの預言は、荒らす憎むべき者が、エルサレムの「聖なる場所」に立つのをクリスチャンが見るときに(将来)成就するのだと言われました。これは誤解の余地がないほど明白です。
- H. イエスは、エルサレムの滅亡を、イスラエルがイエスを王、そして救い主として受け入れることを最終的に拒絶したことと明確に関連させておられます(マタイによる福音書21:33-43; 23:37, 38; ルカによる福音書19:41-44)。このメシアとして受け入れることを拒絶することと、町と宮の滅亡の関係が、ダニエル書9:26,27の重要なメッセージです。それはイスラエルが、愛の恩恵機関である490年がさらに与えられたにもかかわらずメシアを拒み続けた結果を知らせるメッセージです。イエスの誕生のずっと以前の紀元前164年に死去したアンティオカス・エピファネスを預言に当てはめることは、ダニエル書8章と9章の最も重要な聖書の時にに関する預言をまったく無効にしてしまいます。

クイズ

1. ダニエル書8章の雄羊は何を象徴しますか?(1)

- バビロン
- メド・ペルシャ
- ギリシャ
- ローマ

2. ダニエル書8章の雄やぎは何を象徴しますか?(1)

- エジプト
- パレスチナ
- ギリシャ
- アッシリア

3. ダニエル書8章の小さい角の権力は何を象徴しますか?(1)

- アンテオカス・エピファネス。
- 異教、そして法王制両方の段階におけるローマ。
- 無神論主義。
- イラク。

4. 古代のイスラエルにおける贖罪の日は、裁きの日でした。(1)

- はい
- いいえ

5. 2300年のうち何年がユダヤ人のために切り取られましたか?(1)

- 490年
- 700年
- 1810年
- 100年

6. 聖書の預言において、預言的な一日は、実際の一年と等しい。(1)

- はい
- いいえ、

7. 2300年の預言は、(それが起こる500年前に)メシヤが紀元27年に、現れることを預言した。彼はその預言通りの時に現れた。これは次のことを証明しません。(3)

- 聖書は靈感を受けている。

- 天使ガブリエルが運のいい推測をした。
- ほかのすべての預言のときも正しい。
- イエスはメシヤである。

8. ユダヤ国民のために割り当てられた490年が紀元34年に終了したとき、弟子たちは何をしましたか?(1)

- 彼らはほかの国々の人々に宣教し始めた。
- 彼らは長い休暇をとった。
- 彼らは、紀元34年以後は、どのユダヤ人も救われないとやった。

9. ダニエル書の8章と9章の2300年の預言によると、1844年には何が起こりましたか?(1)

- 天において裁きが始まった。
- ユダヤの国の恩恵期間が閉じた。
- イエスが昇天された。
- 神はすべての人々の恩恵期間を閉ざされた。

10. 天の贖罪の日、または贖い (at-one-ment ひとつになる) は、宇宙のすべてに神との完全な調和をもたらします。下記の文で、贖いに関するいくつかの観点について正しいことを述べているものはどれですか?(10)

- イエスは私たちの死の刑罰を支払うために、ご自分の命を犠牲にされた。
- イエスは私たちを罪の呵責から解放してくださった。
- イエスは私たちを変えて、完全に新しい人にしてくださる。
- イエスは私たちを神の御姿に回復してくださる。
- 天の法廷では、神は、すべての人々がキリスト、またはサタンのどちらかに仕えるかの選択を尊重される。
- サタンの滅ぼす計画と、人々を救う神の栄光のご計画に関する知識が、地上のすべての人々に伝わる。
- 罪、サタン、そして、罪びとは集められて滅ぼされる。
- 神は新しい天と、新しい地とを神の民のために再創造し、そして、彼らと共に住まれる。
- 罪は再び起こることはない。
- 贖罪は、カルバリーでの、キリストの犠牲によって可能となった。
- サタンと悪天使たちは改心し、救われる。

11. ユダヤの国に与えられた490年の預言の最後の一週、あるいは、7年を切り離して、世界の歴史の終わり近くの反キリストの働きに適應することに関して、聖書的な権威、あるいは、証拠はありません。(1)

- 正しい
- 間違い

12. 紀元34年に、(3)

- 神のお選びになった国としてのユダヤの恩恵期間は終わった。
- 弟子たちはほかの人々やほかの国々に宣教し始めた。
- 義なる執事であったステパノは、石打の刑に処された。
- 天において裁きが始まった。

13. 2300日の預言の期間が始まったのは(1)

- 紀元34年
- 1944年
- 紀元前1491年
- 紀元前457年

14. ダニエル書と黙示録の預言は、主に私たちと、私たちの時代に適應されます。(1)

- はい
- いいえ

著作権 ; 2006年 Amazing Facts Inc. 無断での複製、転載を禁じます。
個人使用に限ってのみ複写可。 by www.bibleuniversity.com Bible School website.